

株式会社ダイフク <6383>

平成 29 年 3 月期 第 1 四半期

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

# 決算説明資料

2016 年 8 月 9 日



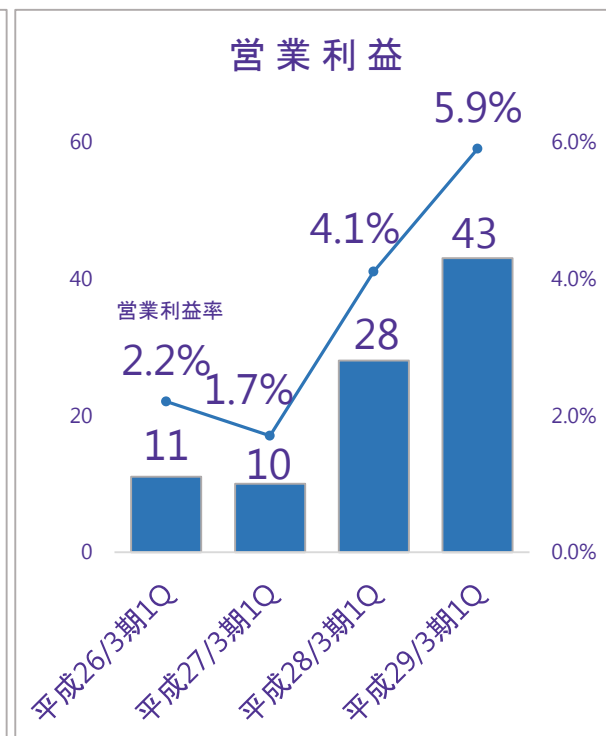
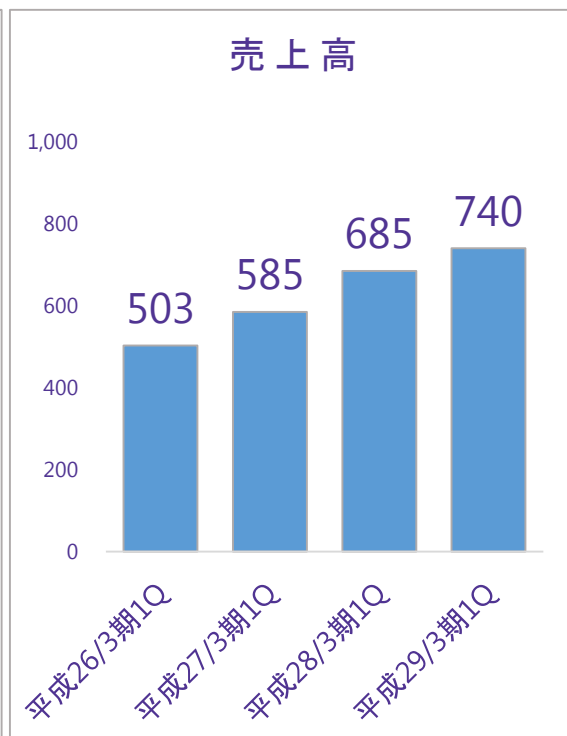
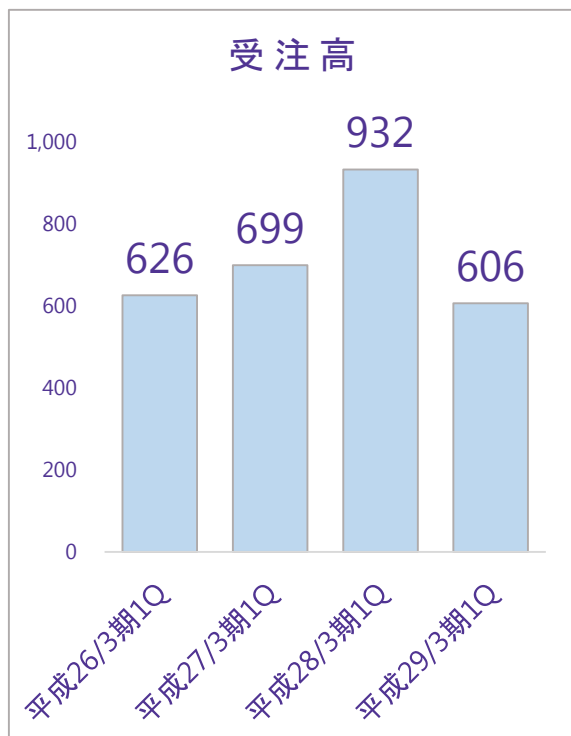
**DAIFUKU**

Always an Edge Ahead

- 受注: 半導体・液晶設備投資の減少、円高の影響
- 売上: 豊富な受注残をベースに推移
- 利益: ダイフク単体の増収・原価改善、空港向けシステムの収益改善

【第1四半期連結業績推移】

(億円/切捨て)



# 平成29年3月期第1四半期業績(連結)

DAIFUKU

2

(億円/切捨て)

	平成28/3期1Q	平成29/3期1Q	対前年同期比
受注高	932.7	<b>606.6</b>	▲35.0%
売上高	685.3	<b>740.3</b>	+8.0%
営業利益	28.2	<b>43.4</b>	+53.7%
経常利益	33.0	<b>42.8</b>	+29.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	25.7	<b>29.6</b>	+14.9%
包括利益	35.9	<b>▲10.8</b>	-
1株当たり 四半期純利益(円)	23.27	<b>24.36</b>	

(億円/切捨て)

	受注高 (外部顧客への受注高)		売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (親会社株主に帰属する 四半期純利益)	
	平成28/3期1Q	平成29/3期1Q	平成28/3期1Q	平成29/3期1Q	平成28/3期1Q	平成29/3期1Q
ダイフク	362.4	<b>305.8</b>	290.1	<b>343.1</b>	16.5	<b>22.0</b>
コンテック	33.7	<b>38.8</b>	31.7	<b>36.6</b>	▲0.5	<b>1.1</b>
DNAHC※1	244.1	<b>141.6</b>	175.4	<b>195.7</b>	▲0.9	<b>5.9</b>
DPM※2	40.2	<b>30.8</b>	27.8	<b>22.8</b>	0.0	<b>▲0.8</b>
その他	252.1	<b>89.3</b>	151.7	<b>159.6</b>	11.3	<b>2.4</b>
連結調整等	-	-	8.4	<b>▲17.7</b>	▲0.6	<b>▲1.1</b>
合計 (調整後)	932.7	<b>606.6</b>	685.3	<b>740.3</b>	25.7	<b>29.6</b>

※1 DNAHC = Daifuku North America Holding Company

※2 DPM = 株式会社ダイフクプラスモア

# 連結貸借対照表

DAIFUKU

4

(億円/切捨て)

	平成28年 3月期期末	平成29年 3月期1Q	増減額
<b>流動資産</b>	2,143.2	<b>2,015.2</b>	▲127.9
現金及び預金	491.8	<b>472.5</b>	▲19.3
売上債権	1,312.9	<b>1,194.5</b>	▲118.4
棚卸資産	220.9	<b>236.8</b>	+15.9
その他	117.4	<b>111.3</b>	▲6.1
<b>固定資産</b>	817.3	<b>776.1</b>	▲41.1
有形固定資産	328.8	<b>321.0</b>	▲7.7
無形固定資産	170.7	<b>158.7</b>	▲12.0
のれん	111.8	<b>103.0</b>	▲8.7
その他	58.9	<b>55.6</b>	▲3.2
投資その他の資産	317.7	<b>296.3</b>	▲21.4
<b>資産合計</b>	2,960.5	<b>2,791.4</b>	▲169.1

	平成28年 3月期期末	平成29年 3月期1Q	増減額
<b>流動負債</b>	1,150.3	<b>1,036.3</b>	▲114.0
仕入債務	579.6	<b>528.4</b>	▲51.1
短期借入金	87.0	<b>92.0</b>	+5.0
その他	483.6	<b>415.7</b>	▲67.8
<b>固定負債</b>	509.0	<b>489.2</b>	▲19.8
長期借入金・社債	322.0	<b>316.8</b>	▲5.1
その他	187.0	<b>172.3</b>	▲14.6
<b>負債合計</b>	1,659.3	<b>1,525.5</b>	▲133.8
株主資本	1,236.6	<b>1,242.1</b>	+5.4
資本金	150.1	<b>150.1</b>	-
その他の包括利益累計額	33.8	<b>▲6.0</b>	▲39.8
非支配株主持分	30.6	<b>29.7</b>	▲0.8
<b>純資産合計</b>	1,301.1	<b>1,265.9</b>	▲35.2
<b>負債純資産合計</b>	2,960.5	<b>2,791.4</b>	▲169.1

# 連結業種別受注高・売上高

DAIFUKU

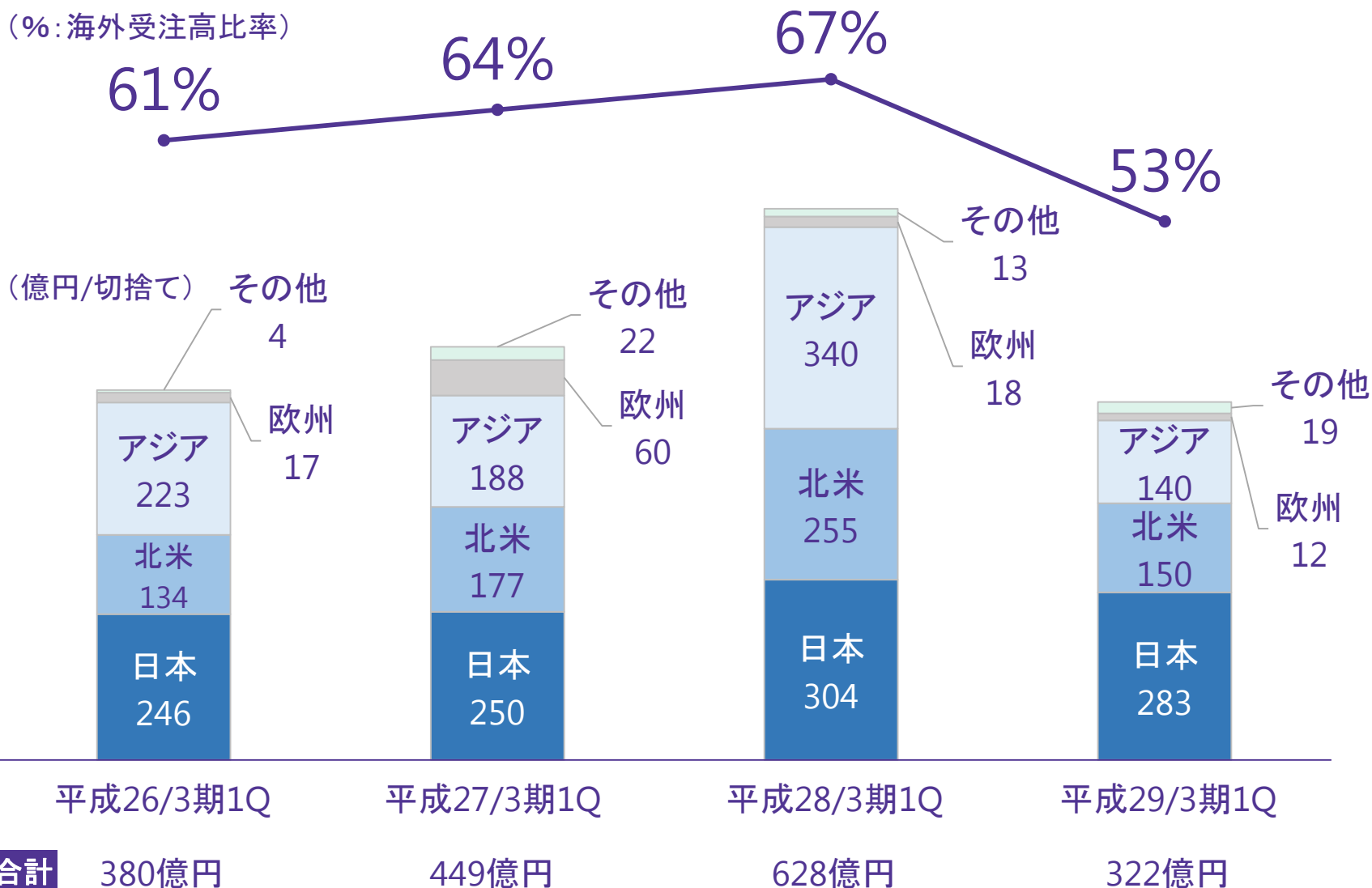
5

(億円/切捨て)

業種	受注高				売上高			
	平成28/3期1Q		平成29/3期1Q		平成28/3期1Q		平成29/3期1Q	
	受注高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自動車および 自動車部品	149.8	16.1%	<b>79.1</b>	<b>13.1%</b>	131.7	19.2%	<b>132.6</b>	<b>17.9%</b>
エレクトロニクス	335.2	35.9%	<b>146.4</b>	<b>24.1%</b>	203.1	29.6%	<b>234.8</b>	<b>31.7%</b>
商業および 小売業	163.1	17.5%	<b>122.1</b>	<b>20.1%</b>	158.0	23.1%	<b>111.2</b>	<b>15.0%</b>
運輸・倉庫	53.0	5.7%	<b>61.8</b>	<b>10.2%</b>	37.5	5.5%	<b>62.3</b>	<b>8.4%</b>
機械	26.2	2.8%	<b>19.4</b>	<b>3.2%</b>	13.9	2.0%	<b>19.1</b>	<b>2.6%</b>
化学・薬品	29.9	3.2%	<b>41.1</b>	<b>6.8%</b>	27.9	4.1%	<b>34.8</b>	<b>4.7%</b>
食品	22.7	2.4%	<b>27.3</b>	<b>4.5%</b>	12.5	1.8%	<b>24.3</b>	<b>3.3%</b>
鉄鋼・非鉄金属	10.1	1.1%	<b>9.8</b>	<b>1.6%</b>	7.7	1.1%	<b>8.0</b>	<b>1.1%</b>
精密機器・ 印刷・事務機	12.1	1.3%	<b>10.3</b>	<b>1.7%</b>	7.6	1.1%	<b>9.6</b>	<b>1.3%</b>
空港	90.2	9.7%	<b>57.4</b>	<b>9.5%</b>	60.2	8.8%	<b>75.0</b>	<b>10.1%</b>
その他	40.0	4.3%	<b>31.6</b>	<b>5.2%</b>	24.8	3.7%	<b>28.0</b>	<b>3.9%</b>
合計	932.7	100.0%	<b>606.6</b>	<b>100.0%</b>	685.3	100.0%	<b>740.3</b>	<b>100.0%</b>

# 地域別受注高の推移

(%: 海外受注高比率)



# 地域別受注高

DAIFUKU

7

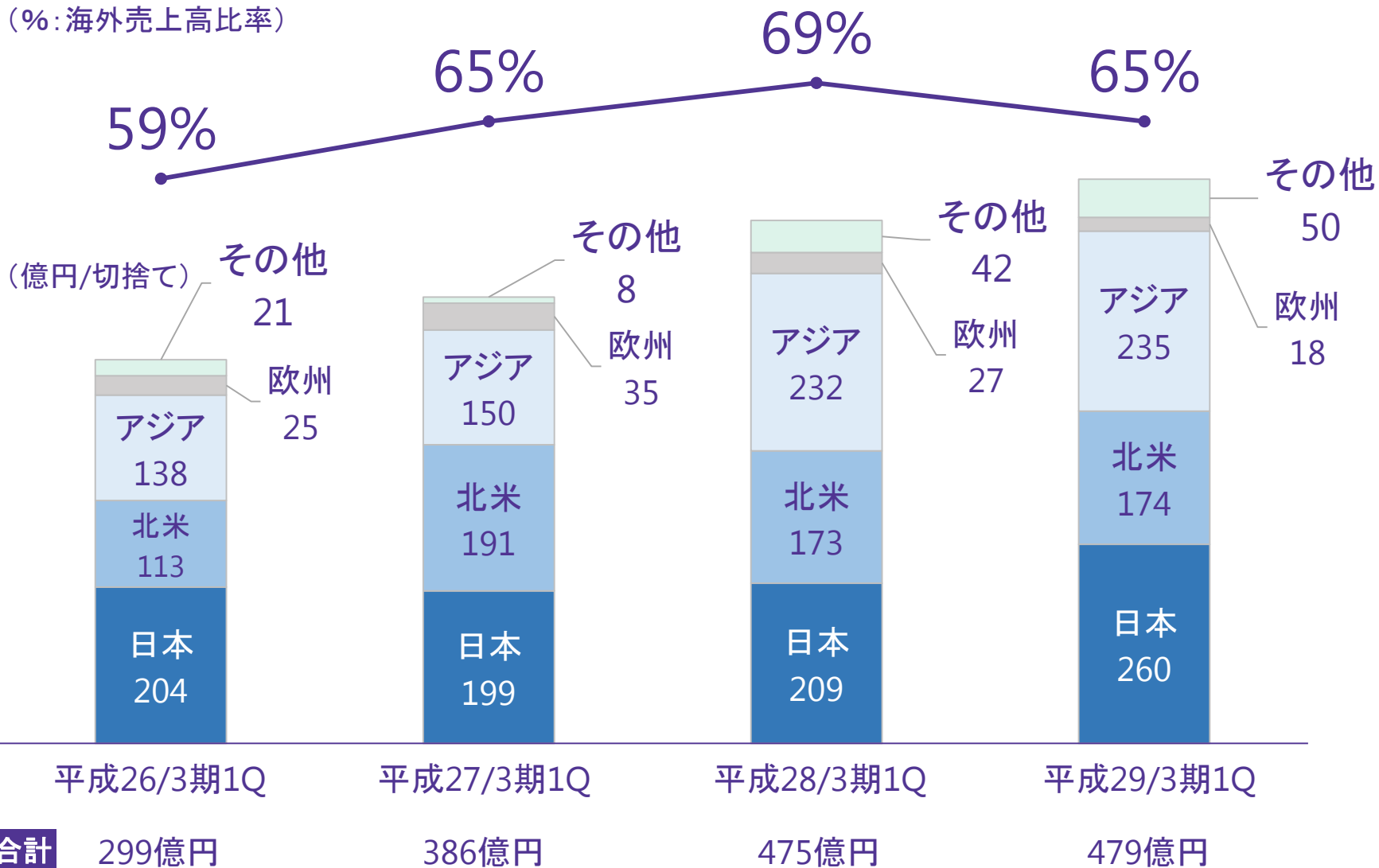
(億円/切捨て)

地区	国名	平成26/3期1Q		平成27/3期1Q		平成28/3期1Q		平成29/3期1Q	
		受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比
日本		246.6	39.3%	250.0	35.7%	304.2	32.6%	<b>283.8</b>	<b>46.8%</b>
北米		134.8	21.5%	177.6	25.4%	255.9	27.5%	<b>150.7</b>	<b>24.8%</b>
アジア		223.8	35.7%	188.9	27.0%	340.9	36.5%	<b>140.1</b>	<b>23.1%</b>
	中国	63.0	10.0%	87.2	12.5%	136.4	14.6%	<b>44.0</b>	<b>7.3%</b>
	台湾	36.7	5.9%	6.4	0.9%	64.7	6.9%	<b>39.2</b>	<b>6.5%</b>
	韓国	79.4	12.7%	55.8	8.0%	109.2	11.7%	<b>35.3</b>	<b>5.8%</b>
	その他	44.5	7.1%	39.3	5.6%	30.5	3.3%	<b>21.4</b>	<b>3.5%</b>
欧州		17.4	2.8%	60.7	8.7%	18.4	2.0%	<b>12.4</b>	<b>2.1%</b>
その他		4.1	0.7%	22.4	3.2%	13.0	1.4%	<b>19.4</b>	<b>3.2%</b>
合計		626.8	100.0%	699.7	100.0%	932.7	100.0%	<b>606.6</b>	<b>100.0%</b>



# 地域別売上高の推移

(%: 海外売上高比率)

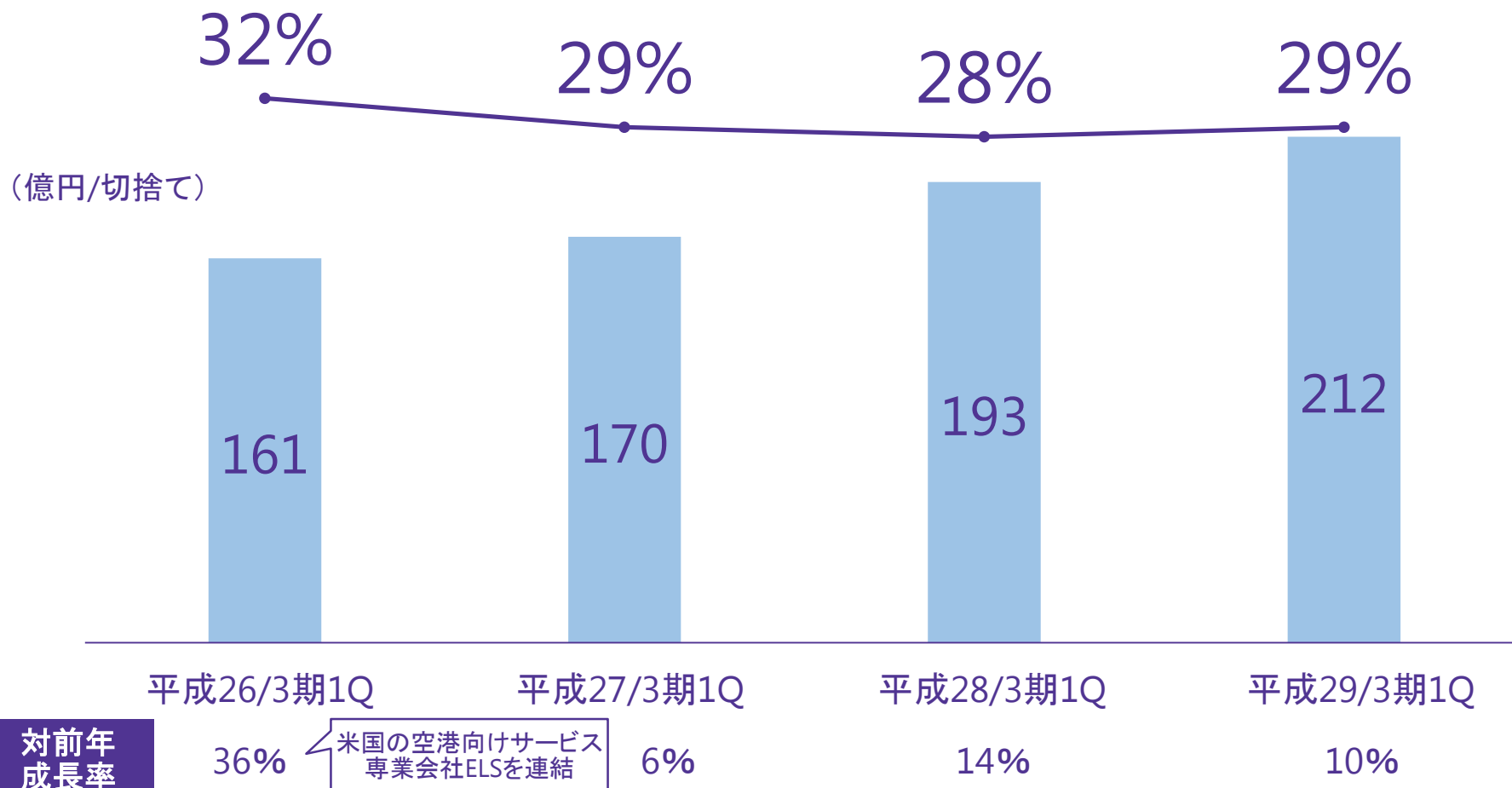


(億円/切捨て)

地区	国名	平成26/3期1Q		平成27/3期1Q		平成28/3期1Q		平成29/3期1Q	
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
日本		204.5	40.6%	199.1	34.0%	209.6	30.6%	<b>260.3</b>	<b>35.2%</b>
北米		113.8	22.6%	191.8	32.8%	173.1	25.3%	<b>174.5</b>	<b>23.6%</b>
アジア		138.8	27.6%	150.1	25.7%	232.9	34.0%	<b>235.6</b>	<b>31.8%</b>
	韓国	37.1	7.4%	53.6	9.2%	87.8	12.8%	<b>72.8</b>	<b>9.8%</b>
	中国	41.3	8.2%	55.6	9.5%	63.8	9.3%	<b>70.9</b>	<b>9.6%</b>
	台湾	24.5	4.9%	10.8	1.9%	56.8	8.3%	<b>64.3</b>	<b>8.7%</b>
	その他	35.7	7.1%	30.0	5.1%	24.3	3.6%	<b>27.4</b>	<b>3.7%</b>
欧州		25.1	5.0%	35.7	6.1%	27.4	4.0%	<b>18.9</b>	<b>2.6%</b>
中南米		18.5	3.7%	3.6	0.6%	9.7	1.4%	<b>7.3</b>	<b>1.0%</b>
その他		2.8	0.5%	4.7	0.8%	32.4	4.7%	<b>43.4</b>	<b>5.8%</b>
合計		503.6	100.0%	585.3	100.0%	685.3	100.0%	<b>740.3</b>	<b>100.0%</b>

※サービス売上高：納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高

(%:対売上高比率)

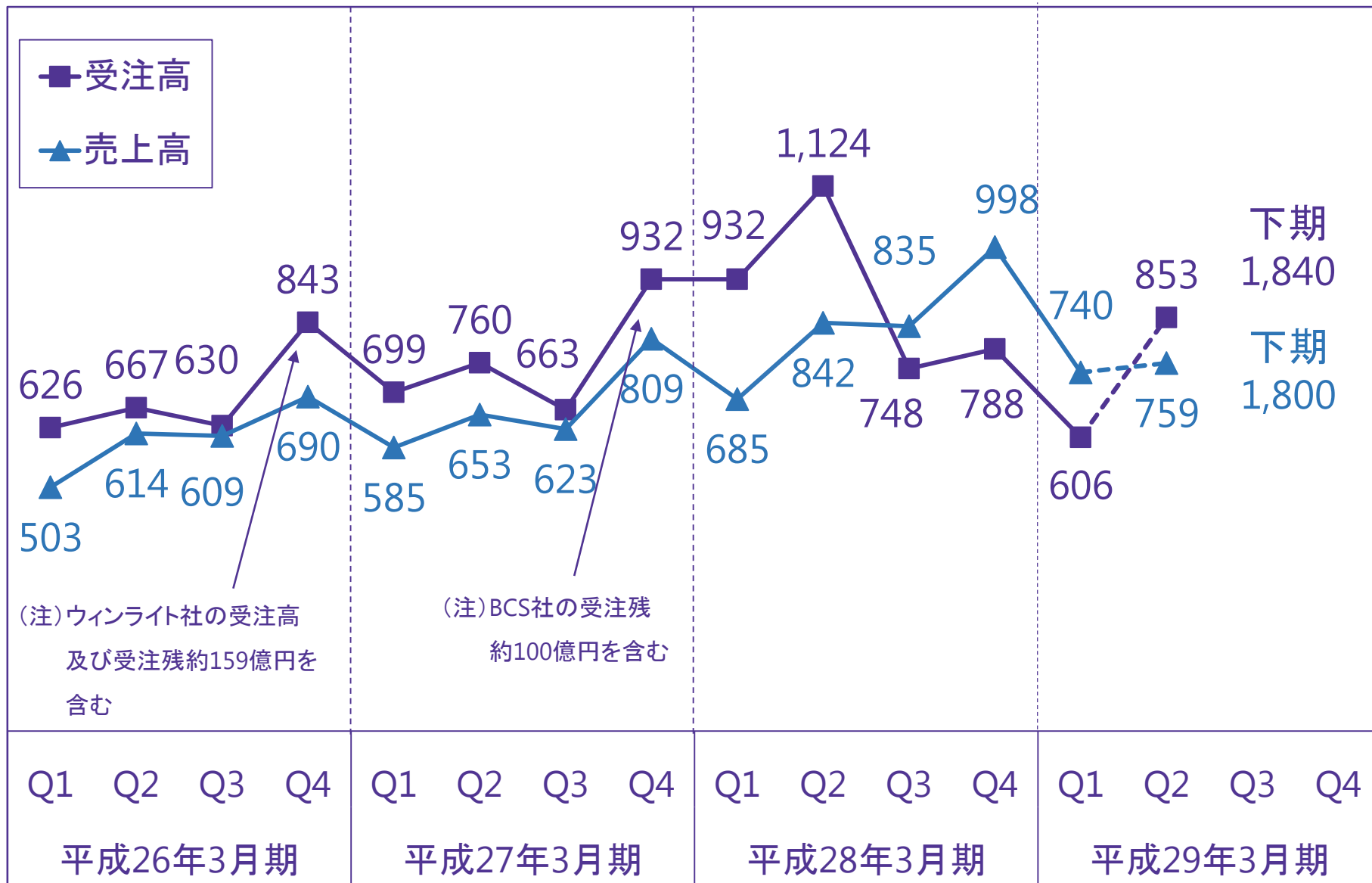


米国の空港向けサービス  
専門会社ELSを連結

対前年  
成長率

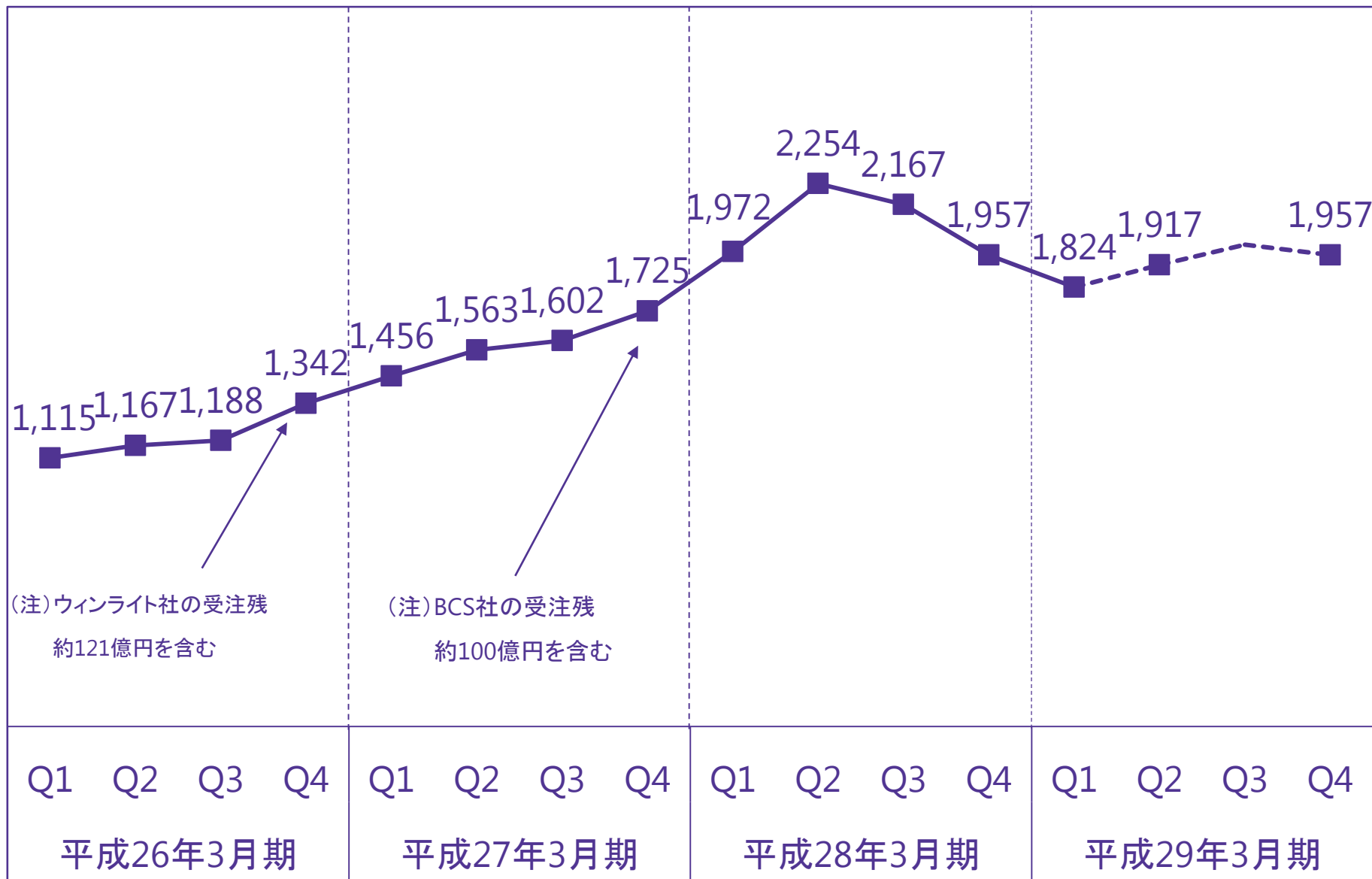
# 受注高、売上高の四半期ごとの推移

(億円/切捨て)



# 受注残の推移

(億円/切捨て)



# 平成29年3月期第2四半期業績予想（連結）

DAIFUKU

13

（億円/切捨て）

	平成28/3期2Q	平成29/3期2Q(予想)		
		5/12 公表	8/9 修正公表	対前年 同期比
受注高	2,057.5	1,650	<b>1,460</b>	▲29.0%
売上高	1,527.9	1,540	<b>1,500</b>	▲1.8%
営業利益	85.4	97	<b>95</b>	+11.1%
経常利益	91.3	98	<b>94</b>	+3.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	61.8	70	<b>67</b>	+8.3%

# 平成29年3月期通期業績予想（連結）

DAIFUKU

14

（億円/切捨て）

	平成28/3期通期	平成29/3期通期 （予想）	対前年 同期比
受注高	3,594.2	<b>3,300</b>	▲8.2%
売上高	3,361.8	<b>3,300</b>	▲1.8%
営業利益	208.7	<b>210</b>	+0.6%
経常利益	219.9	<b>215</b>	▲2.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	136.5	<b>145</b>	+6.2%

※ 5月12日公表から修正なし。

- 中国の一般製造業・流通業向けシステムの体制強化  
上海近郊の工場を移転し、従来の2.5倍の生産能力に



大福(中国)物流設備有限公司の新本社兼工場



## ■ JPX日経インデックス400構成銘柄に選定

主な選定基準		当社
定量的な 指標	3年平均ROE	10.1%
	3年累積営業利益	483億円
	時価総額（6月末）	2,247億円
定性的な 要素	独立社外取締役の2人以上選任	○
	IFRS採用	×
	決算情報英文資料のTDnetでの開示	○

※定期入替実施日：2016年8月31日

- (株)日本政策投資銀行(DBJ)の「DBJ健康経営格付」で最高ランクを取得

「こころと体の健康づくり委員会」と産業医等との連携、運動セミナー、生活習慣病の高リスク者対策などが評価された。

DBJの評価認証型融資制度に基づく3つの格付すべてを取得



当社は、平成24年2月日本政策投資銀行(DBJ)より防災格付融資を受け、格付結果は「防災に対する取り組みが優れている」と評価されました。



当社は、平成24年10月日本政策投資銀行(DBJ)より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。



当社は、平成28年6月日本政策投資銀行(DBJ)より健康格付融資を受け、格付結果は「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」と評価されました。

# DAIFUKU

Always an Edge Ahead

## 将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。